令和８年度

日本絹の里
NIPPON SILK CENTER

繭から織物までの体験セミナー

参加者募集のお知らせ



絹の原料である繭は、蚕が1本の糸を切れることなく吐き続けて作り上げています。
そのため、繭の糸口を見つけてその糸をたどると、1300mほどの長い糸を引き出すことができます。
しかしながら、この繭の糸はとても細く、取り出しただけではまだ機織りに使うことはできません。繭から絹織物ができるまでには、様々な工程が必要です。



このセミナーでは、絹織物を作るための、「座繰り」・「撚糸」・「精練」・「染色」・「機織り」の工程について、５日間のプログラムで専門家による講義や体験で学習していただきます。
最終の「手織り」の体験では、自分で精練し、染色した絹糸でランチョンマットを織ります。

座繰り（ざぐり）　繭から糸をひく



撚糸（ねんし）（講義）　糸に撚りをかける



精練（せいれん）　糸の表面の固い層を落とす



染色（せんしょく）　糸を染める



機織り（はたお）　たて糸とよこ糸を交差させて布を織る



（詳しい内容や日程は裏面をご覧ください）

◆開講時間　9:30～16:00　※2日目以降は 10:00～　※各工程により時間が変わることがあります
◆受 講 料　10，000円　（教材費含む）　※1日目に徴収いたします
◆募集人数　12名　（応募者多数の場合は抽選となります）
◆対 象 者　18歳以上、5日間の日程全てに出席が可能な方で、日本絹の里手織り体験に参加したことがある方
◆応募方法　往復ハガキ　**令和8年12月23日（水）必着**
往信裏面に、**①氏名（ふりがな）、②郵便番号・住所、③電話番号、④年齢、⑤５日目「手織り」のＡ～Ｃの希望の日程（第３希望まで）**
返信あて名面に、**ご自身の郵便番号・住所、氏名**
を記入のうえ、日本絹の里「繭から織物までの体験セミナー係」宛に送ってください。

＜お申込み・お問い合わせ・会場＞　群馬県立日本絹の里　☎ 027-360-6300
〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1
開館時間 9:30～17:00　休館日 火曜日、年末年始[12/27～1/5]※1/3(日)は臨時開館

令和８年度「繭から織物までの体験セミナー」日程表

開催日			開催内容	
１日目	１/２７（水）		**座繰り**の講義と体験 繭の個数や繭の種類の違いによる生糸の風合いを学びます。 講師：茶谷芳久（群馬県蚕糸技術センター）	
			講義	○製糸技術の移り変わり ○座繰り糸の特徴
			体験	○上州座繰器を使用しての糸繰り体験 ○小枠から大枠に巻き返す揚返し体験 ※座繰りした糸はランチョンマットには使用しません。実習サンプルとして後日お配りします。
２日目	２/４（木）		**撚糸・精練**の講義と体験 撚糸や精練による糸作りを学びます。 講師：群馬県立繊維工業試験場 職員	
			講義	○撚糸・精練について
			体験	○精練 ※ランチョンマットのよこ糸として使う糸を精練します。
３日目	２/１５（月）		**染色**の講義と体験 化学染料の混色と綛（かせ）状の絹糸の染色を学びます。 講師：高橋麻里奈（当館染色講師）	
			講義	○糸染めについて
			体験	○化学染料でランチョンマット用のよこ糸を染色します。
４日目	２/１７（水）		**織物**についての講義と体験 織物と糸の関係について学びます。 講師：青木純子（染織作家、当館手織り講師）	
			講義	○織物について、整経（機の経糸準備）について
			体験	○織物設計表の作成、糸巻き
５日目	A	2/21（日）	**手織り**の体験 ランチョンマットを織ります。 講師：青木純子	 ランチョンマット（約24cm×30cm）
	B	2/22（月）		
	C	2/26（金）	体験	○ランチョンマット製織 ※専用の織機(4台)を使用するため、4名1組に分かれて行います。 ※A～Cの日程を、第3希望まで応募はがきにご記入ください。